

教科書展示会意見提出結果

参考資料

1 教科書 展示会場・期間

中央図書館

令和5年6月16日（金）から7月2日（日）まで
午前9時から午後8時30分まで（休館日を除く）

緑ヶ丘・深大寺分館

令和5年6月16日（金）から7月2日（日）まで
午前9時から午後5時まで（休館日を除く）

2 意見提出数

	意見提出人数	意見数
中央図書館	16 人	24 件
緑ヶ丘分館	5 人	13 件
深大寺分館	6 人	8 件
郵便・持参	1 人	1 件
Eメール	3 人	5 件
合計	31 人	51 件

3 教科別内訳

教科	意見数
全般	8 件
国語	7 件
書写	0 件
社会	21 件
地図	0 件
算数	2 件
理科	2 件
生活	1 件
音楽	0 件
図画工作	0 件
家庭	2 件
保健	1 件
英語	1 件
道徳	6 件
合計	51 件

4 意見の内容

別紙のとおり

令和6年度に使用する調布市立中学校教科用図書に関する意見等 ※原文のまま表記。判読不能な部分は●で表記。

意見数	教科名	学年	教科書会社	意見
1	—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書採択は現場の先生たちや市民の声をきき尊重してください。 ・ページ数が多く内容もむずかしくなっていると思います。子どもたちの負担が大きいのでは…と心配です。 ・教科書では真理真実を大切にしてほしいです。（それは基本的人権や民主主義について考えさせ世界的な視野で平和的にくらせる子どもを育てるために必要なことです。） ・道徳的な観点で” いい子” をおしつけるのはやめてほしい。
2	—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・かつて週6日制で行っていた授業時間数が5日制になった今、又同じ時間数になっています。教科書のページ数は増加しており、果たして消化できるのでしょうか？ ・教科書は信実を伝えるものであって欲しいです。 ・QRコードは便利で学習が深まると宣伝されていますが、「自分で調べる」という力をつくのでしょうか。 ・現場の先生達や、市民の声を尊重して欲しいです。
3	—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・サイズ・容量が大きく、子ども達の負担がこれまで以上にかさむのではないか。教科書を学校に置いておくことをぜひ考えてほしい。 ・二次元コードが多く載っているが、自分で調べ、考える学習にどのように影響を及ぼすのか不安を持つ。 ・授業の流れが詳しく書かれているが、先生が子ども達の様子を見、子ども達の意見・考えを聞きながら、自主的に授業を進められることが最重要。 ・教科書では、真理・真実を大切にすべき。政府の考えを押しつけるのはよくない。 ・教科書採択に当たっては、現場の先生や市民の意見をしっかり聞き、それを尊重・反映してほしい。 <p>なお、8月2日、3日に予定されている教科書採択に係る臨時教育委員会の日程は広く市民に周知し、参加を呼びかけてほしい。</p> <p>また、会場では、前回行われたような映像投写をやってほしい。</p> <p>以上、よろしくお願い致します。</p>
4	—	—	—	<p>昨教科書会社の不正行為が新聞に掲載されていました。不正行為をした教科書会社の教科書はどの教科も採用すべきではないと思います。</p>
5	—	—	—	<p>市の広報で見て来館したが、「特別支援学級用の教科書展示はありません」との表記。支援学級用の教科書が見たかった。支援学級が、子に合わせて授業を行っているのは承知している上で、来館している。その上で、教科書を展示してくれていると期待していたので、とても残念である。</p>

意見数	教科名	学年	教科書会社	意見
6	—	—	—	内容とは関係ないが、犯罪行為や不正行為を行った大日本図書と東京書籍は教科を問わず採用しないで頂きたいです。
7	—	—	—	教科書採択の教育委員会で前は映像も利用し傍聴者にもわかりやすい説明があったが今回も是非その様にして下さるとありがたい
8	—	—	大日本図書 東京書籍	昨年から今年にかけて教科書会社の不祥事が新聞記事となって世間の知るところとなった。逮捕者を出した出版社の教科書を使うようになったら子供たちはどう思うのだろうか？不正行為をした出版社の教科書を使うようになったら子供たちはどう感じるのだろうか？大日本図書と東京書籍の教科書は出来るならば、採用しないで頂きたい。—市民として切に願う。
9	国語	3	教育出版	「うめぼしのはたき」という教材には丁寧な脚注が付いていて子供にとって親切な工夫と思います。こうした子供にとって分かりやすい教科書が好ましいと思います。
10	国語	1～6	教育出版	全学年とも巻末の付録が充実している感を受けます。「〇〇のまとめ」や「大事な言い方」をたしかめようなどの「言葉の道具箱」が日常生活でも活用できる内容で良い。CUDマークが付与されていて、色使いに関して第三者機関の認承を受けているので、色弱の生徒にも一般の生徒にも見やすい色使いになっている点も良い。
11	国語	2・5	教育出版	5・6年の国語の教科書も上・下で重さが配慮されている
12	国語	5・6	教育出版	他の会社の5・6年生の国語の教科書は1冊本で厚くて重たい。今の子供は教科書以外にも資料集やノートなどでランドセルが一杯になっている。国語は特に学校に持って行く機会が多いので2冊に分かれていた方が良いと思う。
13	国語	1	光村図書出版	国語は光村が良いと思いました。私の時も光村で、国語の授業が楽しかった思い出があります。自分の子ども達にも使って欲しいと思っています。
14	国語	1～6	光村図書出版 東京書籍	ことばの学習教科なので、低学年（1年）とはいえ、絵だけ何ページもは疑問です。子ども発達段階に応じた、子どもであっても琴線に響く作品、感動をよぶ作品の選択が第一と思いました。感動、共感を通して、ことばを知り、ことばの表現方法を学ぶので、何より掲載作品の質のいいものが与えられることを願います。日本文化の特質・美点も大事ですが、今の子供達が大人になる時期の、多文化、異質な文化の具体的な素晴らしさもわかる視点をもってほしいです。

意見数	教科名	学年	教科書会社	意見
15	国語	—	東京書籍 教育出版 光村図書出版	国語の教科書を拝見致しました。”大造じいさんとガン” ”一つの花” 各社懐かしい教材がありますね。私はどの教科書で学んだかは覚えていませんが、国語は半年に一度新しい教科書をいただき、その表紙を見るのが楽しみでした。そういった出会いが意欲を高めてくれていたと思います。高学年が一冊の会社もありましたが、それについては残念に思いました。子どもたちの”出会い”を大切にしてください。
16	社会	6		教科書のつくり方に違いがあった。1冊にまとめているもの、内容によって分けて出版しているもの。学習は分野によって分けられるものではなく、相互に関連し合っていると思う。印刷はどの本もきれいで素晴らしい。QRコードがあり内容も充実している。単元をつかむ、調べる、まとめる等に行っているものと身につける能力を基に構成しているものがある。
17	社会	5	東京書籍	領土について1ページをさきことさらに取り上げる必要があるのか これからの世界は近隣の国々とも友好的につき合っていくことが求められている。いたずらに他の国と敵対するような感情ももたせるのではなく、話し合いができる素地を育てたいと思う 小学生の段階で領土を扱うのはむずかしい…。
18	社会	6	東京書籍	1)学習活動の順序として、学習指導要領にそって「つかむ」「調べる」「まとめる」の3段階に分けて各項目ごとに記述されているが、どの項目も機械的にこの順にそって記述している感がある。「つかむ」の後に学習問題あるいはその予想がおかれているが、子どもが学習問題を自ら立てるには、ある程度の歴史事実についての知識がなければ問題を立てることも難しい。形はいかにも子ども自身が課題を見つけて学びに入っていくかたちになっているが、結局は、教科書に書かれている学習問題にそって入っていくしかないことになるのではないか。教科書の学びの組み立て方が形式に流れていく感が否めない。2)近代日本において日本とアジアとのかわりがつくられていく過程で日清戦争・日露戦争は重要な契機となっているが、この二つの戦争においては、戦争の名前には出てこないけれども、実は朝鮮との関係が、戦争の原因・経過・結果において本質的に重要な要素となっている。にもかかわらず、その点の記述がほとんどないために、なぜこの二つの戦争がおこったのか、両国の対立はどこにあったのかが、まったくわからないようになっている。しかもそのうえで、日露戦争での日本の勝利がアジアの人々を励ましたという趣旨の記述がなんの但し書きもないまま無批判に掲載されているのは、近代日本の歴史の大筋を見誤ることにつながるものであり、不適切である。3)日中戦争という近代史のなかの重要な歴史事実について、この項だけ、本文ではなく、子どもが調べた内容として箇条書き的に簡単に要約する形で歴史事実を記述しているが、なぜ、この項だけこういう形の記述にしたのか、不可解である。4)沖縄戦におけるいわゆる「集団自決」について、「アメリカ軍の攻撃で追いつめられた住民には、集団で自決するなど、悲惨な事態が生じました」と書き、あたかも「集団自決」がアメリカ軍の激しい攻撃のた

意見数	教科名	学年	教科書会社	意見
				<p>めにおこったと解される表現となっている。同じ東京書籍の現在使用中の中学校教科書では「日本軍によって集団自決に追いこまれた住民もいました」と書いている。このような広く認められている事実を、小学校教科書は無視し、「集団自決」という悲惨な出来事をひきおこした日本軍の責任を完全に免罪する記述となっている。これは到底理解しがたい不可解な記述である。5)歴史学習の最後の項は、歴史をふりかえりつつ、これからの解決すべき課題を考えるという構成となっている。そもそも今日の日本が抱える課題は多岐にわたり、複雑な問題も多い。そもそも小学生の歴史学習のまとめとして、今の大人にとっても難しい課題を短い時間のなかで考えさせることが必要なのかどうかも検討すべきである。これからの課題を教科書の短いスペースで記述するとすれば、どうしてもある特定の見方に立って記述するほかないだろう。それは当然一面的な偏ったものにもならざるをえないだろう。たとえば、ここで示された課題のなかには、貧困と格差の問題はでてこない。一方、領土問題は大きなスペースを割いて記述されている。領土問題はたしかに存在する。しかしそれは複雑な歴史的経過を経て今日存在している問題である。そのような複雑な長期にわたる経過を小学生にいま学ばせることは可能なのか、また適切なのか検討すべきである</p>
19	社会	6	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・2分冊にすることにより、歴史と政治今の生活がつながらなくなるのではないか ・政治・国際編 憲法国民主権のところでは天皇の被災地訪問の写真P15は必要だろうか。国民主権について具体的な学びができるような内容にしてほしい！P10の「日本国憲法公布の祝賀会」の写真はこのページにあわない。 ・国連の平和維持活動に参加する自衛隊の写真は必要か（当時国民の間で議論がおこっていた）
20	社会	3	教育出版	<p>我が子も次年時には3年生になりますが、巻末にある「わくわく社会科ガイド」は、情報の集め方、記録の仕方、調べ方などが詳しく書かれており、子供達にも分かりやすい内容になっていました。子供にとっても使いやすいと思います、夏休みの宿題や、学年が上がっても役立つスキルが身に付くと思います。</p>
21	社会	3	教育出版	<p>近年様々な発達特性を持つ子供達が増えている中、こちらの教科書はイラストや写真も多過ぎず余白があり、特性を持つ子供達にも使いやすい教科書なのではないかと思います。</p>
22	社会	3	教育出版	<p>学習計画で調べることで、調べ方等の立て方はすごい子供にワクワクする場面だと思います。写真も上からみたりしてとも興味がわくと思います。QRコードが多くついて、どんどん引き込まれると思いますが、五感を通してほんものにさわる、味、におい、食べる等、自分自身が感じものを低学年の時に大切にしてほしい。本物に出逢う喜び、感動を大事にしてほしい。</p>

意見数	教科名	学年	教科書会社	意見
23	社会	5	教育出版	P.58 アイヌの人たち アイヌの人の暮らしを取り上げたことは、とても良いと思いました。江戸時代に日本人（幕府）が迫害した歴史にもふれたほうが良いかと…
24	社会	6	教育出版	どの会社の教科書も分かりやすく子供達にとって使い易いと思いました。特に小学社会の6年生の教科書は障害のある方の日常生活や遠い外国の方の生活などが名前と写真入りで書かれていたので子供達にとっても他人事ではなく親近感を持って学べるのではないかと思います。
25	社会	6	教育出版	6年生の社会科教科書（教育出版）に「スポーツを通じた交流」として調布市の記述が掲載されています。生徒達にとっても身近で興味をもって勉強に取り組めると思います。同社3年生の巻末にある「わくわく！社会科ガイド」は他の教科書には無い充実した付録だと思います。情報を集めたり読み取ったり、まとめたりする時に、こういった活動をすれば良いのか、具体的な例が示されているので、生徒の活動の助けになる良い付録だと思います。
26	社会	6	教育出版	1)近代日本において日本とアジアとのかかわりがつくられていく過程で日清戦争・日露戦争は重要な契機となっているが、この二つの戦争においては、戦争の名前には出てこないけれども、実は朝鮮との関係が、戦争の原因・経過・結果において本質的に重要な要素となっている。にもかかわらず、二つの戦争のなかで朝鮮がどのような立場・地位におかれていたかという点の記述がほとんどないために、なぜこの二つの戦争がおこったのか、両国の対立はどこにあったのかが、表面的にはわかって、その後の日本の朝鮮に対する植民地支配とどうつながっているのかはまったくわからないようになっている。しかもそのうえで、日露戦争での日本の勝利によってアジアの人々が勇気づけられたという趣旨の記述がなんの但し書きもないまま無批判に掲載されているのは、近代日本の歴史の大筋を見誤ることにつながるものであり、不適切である。 2)沖縄戦におけるいわゆる「集団自決」について、「アメリカ軍の攻撃で追いつめられて、多くの住民が集団で死に追いこまれる出来事が起こりました」と書き、あたかも「集団自決」がアメリカ軍の激しい攻撃のためにおこったと解される表現となっている。同じ教育出版の現在使用中の中学校教科書では「日本軍によって、集団で「自決」に追いこまれた人々もいました」と書いている。このような広く認められている事実を、小学校教科書は無視し、「集団自決」という悲惨な出来事をひきおこした日本軍の責任を完全に免罪する記述となっている。これは到底理解しがたい不可解な記述である。 3)歴史学習の最後の項は、歴史をふりかえりつつ、これからの解決すべき課題を考えるとという構成となってい

意見数	教科名	学年	教科書会社	意見
				<p>る。そもそも今日の日本が抱える課題は多岐にわたり、複雑な問題も多い。そもそも小学生の歴史学習のまとめとして、今の大人にとっても難しい課題を短い時間のなかで考えさせることが必要なのかも検討すべきである。これからの課題を教科書の短いスペースで記述するとすれば、どうしてもある特定の見方に立って記述するほかないだろう。それは当然一面的な偏ったものにもならざるをえないだろう。たとえば、ここで示された課題のなかには、貧困と格差の問題はでてこない。一方、領土問題は大きなスペースを割いて記述されている。領土問題はたしかに存在する。しかしそれは複雑な歴史的経過を経て今日存在している問題である。そのような複雑な長期にわたる経過を小学生にいま学ばせることは可能なのか、また適切なのか検討すべきである。</p>
27	社会	6	教育出版	<p>憲法と私たちの暮らし（P12～）のところが扱いが写真や資料もふくめ流れが自然でわかりやすい。（他社との比較）「だれもが使いやすいまちに」から入っていて国民主権や基本的人権平和主義が子どもたちにわかるような構成だ。</p>
28	社会	5	日本文教出版	<p>日本文教出版の5年生社会に「メディアリテラシー」の言葉の説明がありました。</p> <p>「メディアの伝える情報の中から必要な情報を選び出して内容の正しさを確認して活用する能力・技能」とあります。</p> <p>今、小学校では一人一台パソコンが配布され、急速にデジタル機器の普及が進んでいることが背景にあるのだと思いますが、どうやって小学生がその力を身につけることができるのでしょうか。考えさせられました。</p> <p>情報の正しさを判別できるようになるためには、真実に基づいて学び、自分の考えをしっかり組み立てる能力を身につけることが必要だと思います。先生の話聞く時間、友達との意見交換で交流できる時間が十分取れるなかで、学びの喜びを知ることはないでしょうか。ほとんどの教科書にQRコードなど2次元コードが記載されています。情報過多になりすぎないように配慮も必要ではないかと思います。</p> <p>自分でしっかり考える力を持つためにも真理・真実を大切にしている教科書の選択が望まれます。</p>

意見数	教科名	学年	教科書会社	意見
29	社会	6	日本文教出版	<p>【日露戦争】 日本がロシアに勝利したことは、欧米諸国の進出と支配に苦しむアジア諸国の人々に、独立への自覚と希望を与えたと書かれていますが、はたしてそうでしょうか？日本はその後、アジア諸国へ乗り出し、侵略と加害をもたらすこととなります。これでは日本の負の歴史を隠した内容を教えることとなります。</p> <p>【関東大震災と朝鮮人・中国人虐殺】 震災の影響を受けたのは日本経済のみとの記述とし、虐殺の記述はありません。これは日本人の心の奥底に潜む朝鮮人・中国人への差別意識がもたらした犯罪と見てよいと思います。また現代でも続いている（SNSでも行われており、潜在化しているのでなお深刻です）外国人、特に在日コリアンへのヘイトクライム、さらに東京都知事が犠牲者への追悼文を取りやめたことを思うと、調布市の子どもたちが負の歴史を学び、教訓とする授業を受けるのは大切なことです。</p> <p>学校で歴史を学ぶのはただ内容を暗記して覚えるだけではないと思います。日本や世界はどんな歩みをしてきたか、その中には誤った行為はなかったか、負の歴史は覆い隠さず、反省して教訓とする。それが子どもたちの明るい未来へとつながると思います。</p>
30	社会	6	日本文教出版	<p>歴史学者の磯田道史先生からの手紙はとてもよいと思いました。なぜ歴史を学ぶのか「なぞとき」ということからわかりやすく書いてあり、歴史ぎらいになる前に好きになるきっかけを与えてくれていて感激しました。また、深大寺の仏像が載っていて、調布の子供に身近に歴史の体験ができることがわかり、是非使ってほしいと思いました。</p>
31	社会	6	日本文教出版	<p>1)近代日本において日本とアジアとのかかわりがつくられていく過程で日清戦争・日露戦争は重要な契機となっているが、この二つの戦争においては、戦争の名前には出てこないけれども、実は朝鮮との関係が、戦争の原因・経過・結果において本質的に重要な要素となっている。にもかかわらず、その点の記述が非常に簡単なために、そもそも二つの戦争のなかで朝鮮はどのような立場・境遇におかれたのか、なぜこの二つの戦争がおこったのか、両国の対立はどこにあったのか、そういう戦争の全体像がまったくわからないようになっている。しかもそのうえで、日露戦争での日本の勝利がアジア諸国の人々に独立への自覚と希望を与えたという趣旨の記述がなんの但し書きもないまま無批判に掲載されているのは、近代日本の歴史の大筋を見誤ることにつながるものであり、不適切である。</p> <p>2)教科書の各項目のなかで子どもの発言例を多く提示しているのが本書の特徴である。それは一見よいことのようにも受け止められるかもしれないが、また、たしかに子どもの発言を引き出す助けになることもありうる</p>

意見数	教科名	学年	教科書会社	意見
				<p>だろうが、逆に子どもの思考を一つの枠内におさめてしまう弊害ものほうが大きいかもしれない。そのなかで、不可解な発言例もある。日露戦争のところで「日本にとって朝鮮半島は、とても大切な場所なんだね」という発言例が書かれているが、これは何を期待しているのか不可解である。場合によれば、朝鮮の植民地化を肯定する議論にもつながりかねないとも考えられるが。</p> <p>3) 関東大震災のときにおこった朝鮮人・中国人の虐殺の事実については、他の2社が一応ふれているのに、まったくふれていないのは不適切である。</p> <p>4) 一方、日中戦争時のナンキン事件については他の2社とはやや違ってややくわしく記述している。</p> <p>5) 沖縄戦におけるいわゆる「集団自決」について、「追いつめられた住民のなかには、「集団自決」した人も4多数いました」と書き、あたかも「集団自決」がアメリカ軍の激しい攻撃のためにおこったと解される表現となっている。同じ日本文教出版の現在使用中の中学校教科書では「日本軍によって集団自決に追いこまれたり」と書いている。このような広く認められている事実を、小学校教科書は無視し、「集団自決」という悲惨な出来事をひきおこした日本軍の責任を完全に免罪する記述となっている。これは到底理解しがたい不可解な記述である。</p> <p>6) 歴史学習の最後の項は、歴史をふりかえりつつ、これからの解決すべき課題を考えるという構成となっている。そもそも今日の日本が抱える課題は多岐にわたり、複雑な問題も多い。そもそも小学生の歴史学習のまとめとして、今の大人にとっても難しい課題を短い時間のなかで考えさせることが必要なのかどうかも検討すべきである。これからの課題を教科書の短いスペースで記述するとすれば、どうしてもある特定の見方に立って記述するほかないだろう。それは当然一面的な偏ったものにもならざるをえないだろう。たとえば、ここで示された課題のなかには、社会保障制度の問題が大きいとは書いているが、貧困と格差の問題はでてこない。一方、領土問題は大きなスペースを割いて記述されている。領土問題はたしかに存在する。しかしそれは複雑な歴史的経過を経て今日存在している問題である。そのような複雑な長期にわたる経過を小学生にいま学ばせることは可能なのか、また適切なのか検討すべきである</p>
32	社会	6	日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ・分冊でなく一冊になっていて構成も1政治2日本のあゆみ3世界のなかの日本とわたしたちとなっていてわかりやすい。 ・15ページ基本的人権についてだれもが認められた権利であること、障害者への差別があり人権が守られていないことが書いてありよいと思う。一方吹き出しの部分で権利と義務を対比させているのは疑問。また消費税について義務として扱っているのも一面的だと思う。

意見数	教科名	学年	教科書会社	意見
				<ul style="list-style-type: none"> ・国民主権のページなのに「日本国憲法と天皇」というコラムで詳しく説明し、写真もあるのはおかしい。国民主権についてしっかり学べるように記述してほしい。 ・コロナのときに緊急事態宣言を出す内閣総理大臣（菅さん）の写真は必要だろうか
33	社会	1～6	日本文教出版 東京書籍 教育出版	歴史をなぜ学ぶのかなど6年生に考えさせる記事を入れているものあり、いいと感じた。戦争や平和の重要性を述べているが、なるべく具体的に、数字や状況が語られるものがよいと思う。余り学び方について、具体性を示すのでなく、生徒が疑問を見つけ問題を解決するために調べたりするような記述の方がよいと感じた。
34	社会	6	東京書籍 教育出版 日本文教出版	歴史の教科書を拝見致しました。どの教科書も写真やイラストがきれいで、とてもいいなと思いました。私が子どもの頃は全て白黒で、資料集を見て、わくわくしたものです、今の子どもたちがうらやましいです、ただ、明治以降になると各社写真が白黒が多いようですが、教育出版だけは、カラー写真が多く感じ、好印象をもちました。またこの会社は歴史年表が縄文から令和まで一望できるところもよいと思いました。歴史好きの子どもが育つのではないかと思います。
35	社会	6	東京書籍 教育出版 日本文教出版	<p>領土の問題は平和的に解決しないと戦争や紛争を導きかねません。領土問題は北方領土、竹島、尖閣諸島がありますが、最近、中国との関係で取り上げられることが多い尖閣諸島についての記述について調べてみました。</p> <p>◆東京書籍・・・（p152～153）本文「…中国は日本固有の領土である尖閣諸島の領有を主張していますが、尖閣諸島は日本が有効に支配しており、領土問題は存在していません。」</p> <p>◆教育出版・・・（p231）本文「…日本と中国の間には、領土をめぐる問題があります。沖縄県の尖閣諸島は日本固有の領土であり、領土問題はないというのが日本の立場ですが、中国も自国の領土であると主張しています。」</p> <p>◆日本文教出版・・・（p224）尖閣諸島の記述はなく、「尖閣諸島周辺で不審船を取りしめる海上保安庁の巡視船」という説明のついた写真（海保が不審船？に放水している）があります。領土問題を解決するにあたり、未来を担う子どもたちにはどのような姿勢が望まれるでしょうか。安易に武力を使えば領土問題が解決できるというメッセージを子どもたちに送ってはならないと思います。何よりも話し合いや外交の努力が大切であることを伝えなければなりません。領土問題を平和的に解決するには「領土問題は存在しない」という門前払いの姿勢ではなく、相手国の主張を聞き、歴史を調べることで平和的な解決に向かうと思います。軍事費だけが急増している今日、「領土問題は存在しない」で終わらせ、領土問題について深く考えさせないことは大</p>

意見数	教科名	学年	教科書会社	意見
				変危険な道です。「アルザス・ロレーヌ地方」はドイツとフランスの領土問題でしたが、今は両国が友好関係を築くことで問題にはなっていません。領土問題を解決するために子どもも大人も共に考えていきたいです。
36	社会	6	東京書籍 日本文教出版 教育出版	沖縄のガマなどでの集団自決について日本軍が補慮となることを禁じて、いざというときの為自決するべく手りゅう弾を県民に手渡したという事実を書き入れるべきと存じます。当時の軍のありよう、考え方を知るのに大切な資料です。
37	算数	—	教育出版	算数で1番大切な「数学的な物の見方や考え方」が身に付きやすいよう工夫されていて良いと思う。巻頭でこれまでに習った「見方・考え方を復習し、本文中でも「〇〇〔まとめ〕」や「つながるミカタ」で4コマ漫画を使用するなど親しみやすく扱っている。また巻末の付録も「〇〇の使い方」「〇〇のかき方」など生徒が迷った時いつでも見られるように示されていて良い。
38	算数	—	—	1年と6年のつくりの違いがある。絵本のようなつくりや書き込みができるものがあったり、他学年よりも大きな本にしていたり、高学年では中学校につながる本などもあり工夫が見られた。しおりがある本もあり進捗やくが分かりやすい。
39	理科	全学年	各社	プログラミング教育に興味があり各社の教科書を見比べました。複数の方法が載っている会社もあり、工夫されているなあと感じました。ぜひ、子どもたちにプログラミングに興味を持ってもらえたら嬉しいです。その為調布市の小学校の教材に合った内容の教科書を選んでほしいと思いました。また各社ユニバーサルデザインに配慮していて素晴らしいと感じましたが、イラストや文字への配慮だけの会社もあり残念に感じました。例えば6年生の植物を染色する際の染色液が赤や青の会社がありました。赤色だと色弱の子にとっては見えにくいのではないかと感じました。そういった点でも配慮をしてほしいと感じました。その他、わくわく理科3年P.64に香川照之が載っていますが、一連のこともあり、教科書に載せるべきではないのではないかと感じました。
40	理科	全学年	—	QRコードがたくさん、それぞれの教科書についているが多ければ良いというものではないと思う 実物や現場を見て学ぶ事の大切さを失ってはならないと思う
41	生活	—	—	ヨシタケシンスケさんのイラストが載っていて驚いた。

意見数	教科名	学年	教科書会社	意見
42	家庭	5・6	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙が近隣の人たちの生活の様子を表している。全国で使うものなので都会的な場面なのは少し残念。 ・学習題材のはじめに「学習の流れ」が示されている。めあては小さなタイトルの下にあり、題材全体としてのイメージが少しにくいのではないかと思われる。 ・技能的な内容が「いつも確かめよう」としてまとめられている。 ・実習や製作の手順が横に流れているところと、上下になっているところがある。P.71～73のミシンの使い方が見開きにまとめてあるとよいが、スペース的に無理だったのか、少し残念である。 ・「プロに聞く」のコーナーがあり、実在の人の話は説得力があるのでよい。もう少し職種が広がって取り上げられていると、よりよかったのではないだろうか。 ・食物アレルギーについて、P.10で「食物アレルギーの症状」が取り上げられているのはよいが、どのような食品がアレルギーをおこしやすい（人によってちがうが）か、具体例がないのは残念である。 ・「献立」についての説明があるとよい（P.21に初出だが説明がない）。 ・じゃがいもは取り扱いによっては食中毒になってしまうことがある（過去、学校で栽培したじゃがいもを調理して中毒を起こした例がある）ので、もう少しじゃがいもの特性にふれて注意を促すとよい（P.22にふれてはいるが）。

意見数	教科名	学年	教科書会社	意見
43	家庭	5・6	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙が児童に身近に感じられ、5年生ではじめての教科で、これから学ぶことができる。異世代の人、多様な人（外国籍と思われる人、障害のある人…ヘルプマークを買い物バッグにつけている）など、細やかな配慮がされているのがよい。 ・学習のまとめりごとに、学習のめあてがはっきり示されていて、学習の流れ（1気づく見つける2わかるでできる3生かす深める）と一体化していることがはっきりわかって、児童が学習しやすいと思う。 ・各題材の導入の問いかけが、児童の興味や関心につながり、さらに児童が学習のはじめに思ったことや、ちょっと考えたことを書きとめておけるのがよい。学習が終わったあとに、自分が書いたことと比べて、学習前と学習後の変化が確認できる。（主体的に学ぶきっかけになる） ・「なぜなのか、なぜそうするのか」を考えて学習を進められるようになっていて、科学的にもものを見る目が養えるようになっていて、知識だけを教え込むのではないのがよい。 ・実習や製作の手順が横に流れていて、わかりやすい。特別支援の必要な児童への配慮がされている。 ・どの内容にも「キャリアインタビュー」のコーナーがあって、いろいろな職種の人からのメッセージは説得力があり、特にP.121に調布市の学校の管理栄養士の人の話は身近に感じられると思う。P.138・139のキャリアインタビュー「持続可能な未来」の8名のインタビューは環境・伝統・インクルーシブ・ダイバーシティの視点での取り上げ方に工夫がされている。 ・食物アレルギーについて、P.16・17でキャリアインタビューと「食物アレルギーに注意」のコラムがあり、食物アレルギーについて詳しく説明がされている。 ・安全と衛生について、それぞれの学習内容のところで具体的に示されていて、さらにP.142・143にも、なぜそうするかQ&Aも入れてまとめられているのが使いやすいそうである。 ・P.144・145に「家庭や地域安全・防災」がまとめてあり、日常的な防災への備えが示されていて、安全・防災への意識が促されている。・栄養やこんだて学習のときに、P.150の折込みが、いつも広げて見ることができるようになっていて、使いやすい。 ・一人1台端末仕様に対応して、インターネットを活用して授業ができるQRコンテンツの数が多いので、取捨選択できる（動画、資料、活動の種類も区別していてわかりやすい）。 ・じゃがいもの特性がていねいに記述されていて、じゃがいもの芽の部分や緑色のものの写真もあって（P.15）食中毒への配慮がされている。

意見数	教科名	学年	教科書会社	意見
44	体育	3～6	大日本図書	このほけんの教科書で習ってみたい。”もっと知りたい”のページが探求心をしげきさせる。2分冊になっているが別の冊子の学習内容がわかって良い。もどって学習できる
45	外国語	5・6		英語の内容がかなり多く子どもの負担が大きいのではと心配になりました 塾にでも前もって行っていない子や家庭での支援のない子にはついて行けないのではと思いました 英語嫌いにならないで学習できる配慮が必要と強く思いました
46	道徳	6	日本文教出版	別冊として道徳ノートつき まとめを書く様になっており学習の自己評価をする欄があるが素直な思いを記入できるか疑問 望ましい答え文章を忖度して書く事が多く起きそうで心配 自己評価を記すものはいらぬ読み物として教科書があれば良いと思う
47	道徳	1～6	日本文教出版	道徳ノートは必要でしょうか？学習の評価を記入するようになっていますが、このノートが教師に評価されるとなると、本音を書きにくくなるのではないのでしょうか？「いい子」をおしつけるようなことはやめて欲しいです。
48	道徳	1～6	日本文教出版	ノートは必要ないと思う。分冊になると忘れものも多くなる 子どもたちに心の自己評価させることはやめてほしいです。日本の子どもたちは自己評価が低く自信がないといわれています。子ども期をゆたかにのびのびとすごしてほしいと願っています。
49	道徳	6	光村図書出版	表紙の絵は一番素敵だと思った。
50	道徳	1・2	光村図書出版	家族の中の順番について、「おとうさん、おかあさん」の順がどの話でも同じになっている。「おじいさん、おばあさん」も男性・女性の順になっている。固定することにより、子供達が男性優先を当たり前と思うようになるのではないかと思います。
51	道徳	1～6	Gakken 東京書籍 教育出版 光文書院 日本文教出版	徳●の押しつけや、誘導的に優等生的結論に導くのではなく、考えさせる作品、自分の心の中にあるものに気づかせる作品がふさわしいのではないかと思います。モデルとなる家庭像が、両親兄弟姉妹のいるモデルでは、複雑な思いになる子どももいるでしょう。むしろ片親や、親のいない子どもの環境も一つの学びでしょう。ジェンダー視点を積極的に取り入れている出版社が少ないのも驚きでした。子供の権利条約、世界人権宣言も大事ですが、ジェンダー視点、女性の活躍の視点ももっと欲しいと感じる教科書が多かったです。